

2016年度 第2四半期決算説明会  
主な質疑応答

Q1: フリーキャッシュフローが上期だけで1,000億円強プラスとなっているが、その活用についてM&Aや株主還元の方角性に変化はないか？

A1: 現在実行中の自社株買いは、予定通りの進捗。M&Aについては、戦略に基づき進めていく方針は変わらない。

Q2: ドキュメント事業の収益性が1Qから2Qにかけて大きく回復しているが、今後の見通しは？

A2: 1Qは欧米向け輸出が一時的に振るわなかったが、2Qには通常のトレンドの進捗に戻っている。下期もこの傾向が続く見通し。

Q3: コストダウンを進めているとのことだが、下期からその効果は期待できるのか？

A3: 全社を挙げてあらゆる部門で厳しく原価及び経費削減を進めており、既に効果が出てきていることから、下期の業績予想にも反映させている。

Q4: 収益性改善に向け価格改定も検討しているとのことだが？

A4: 10月より順次、ワールドワイドで写真印画紙の値上げを進めている。他分野でも、マーケット状況などを勘案しながら価格の適正化を進めていく。

以上